

ポーラ、乳がん罹患者のための スキンケア・メイクのアドバイス冊子を制作 全国の「ピンクリボンのお宿」に加盟する宿泊施設に配布

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川美紀）は、乳がんにかかった方のためのスキンケア・メイクのアドバイス冊子を制作しました。この冊子は「ピンクリボンのお宿ネットワーク」に加盟している全国100か所以上の宿泊施設で配布されます。

「ピンクリボンのお宿ネットワーク（会長：畠ひで子＝匠のこころ吉川屋女将）」は、乳がんを患い、手術を受けて回復の道を歩みながらも、術後の痕を気にして旅をあきらめてしまうという方たちに、もう一度、誰の目も気にせず旅に出かけてもらい、心ゆくまで旅館・ホテルでの入浴などを楽しんでいただきたいという目的で、全国の病院・看護団体とホテル・旅館が連携し、乳がん治療を受けた方々の旅をサポートするために2012年に設立。ポーラは2021年に新規に会員登録をしました。「ピンクリボンのお宿ネットワーク」は、誰もが旅を楽しめる環境づくりを目指し、シンポジウムや勉強会を通じてそれぞれの立場、考え方への理解を深めるとともに、業界のみならず広く社会に向けて啓発の輪を拡大するほか、毎年、加盟するお宿情報をまとめた冊子「ピンクリボンのお宿」が発行されています。ピンクリボンのお宿ネットワーク <https://www.ribbon-yadonet.jp/>

今回のスキンケア・メイクのアドバイス冊子は、乳がん罹患者の方たちに、自身の肌や心の変化と向き合いながらお手入れをすることで豊かな時間を過ごしていただけるように、また、メイクをすることで前向きな気持ちになったり、新しい自分を発見して元気になっていただくきっかけになるようにと願い、ポーラがオリジナルで制作しました。洗顔・保湿・UVケア等の基本から気をつけるべきポイント、イキイキと明るい印象に見せるメイク、眉毛が脱毛した場合のアイブローの描き方や帽子・ウィッグに合わせる方法などもイラストとともにご紹介しています。



ポーラは、2018年4月より、がんにかかったポーラで働く仲間が仕事を諦めることなく、「就労と治療」の両立をいかに実現できるかを考え設計した「がん共生プログラム」を続けています。ポーラ従業員とその家族及びビジネスパートナーである約3.3万名（2021年12月末時点）のビューティーディレクター※に向けて、がんが、より身近なものであるという意識を高める活動を行っています。がんを治療しながら働く「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」（代表発起人：岩瀬大輔、功能聡子）が創設した「がんアライアワード」では、2019年から最高賞であるゴールドを3年連続受賞しています。

ポーラ がん共生プログラム <https://www.pola.co.jp/company/sustainability/economy/cancer/index.html>

ポーラは今後も、「がんと共に生きる」すべての人が、かけがえのない存在として認め合う社会を目指します。

※：全国に展開するポーラのショップの中で、カウンセリングやエステなどをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。